



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日

上場会社名 京王電鉄株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9008 URL <https://www.keio.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 紅村 康  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部経理部 (氏名) 村上 公彦 (TEL) 042-337-3135  
 経理担当課長  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年11月29日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	217,833	0.1	23,960	1.4	23,090	△2.8	15,915	5.2
2019年3月期第2四半期	217,690	4.2	23,634	4.1	23,763	9.1	15,124	3.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 15,721百万円(△5.7%) 2019年3月期第2四半期 16,664百万円(6.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	130.34	—
2019年3月期第2四半期	123.87	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	882,335	380,680	43.1
2019年3月期	889,341	368,022	41.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 380,391百万円 2019年3月期 367,717百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	27.50	52.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	452,100	1.0	43,300	8.0	41,900	6.7	28,500	4.7	233.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】11ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	128,550,830株	2019年3月期	128,550,830株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	6,448,635株	2019年3月期	6,447,914株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期2Q	122,102,474株	2019年3月期2Q	122,104,435株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、【添付資料】6ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①当第2四半期連結累計期間の業績全般

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
連結営業収益	217,690	217,833	143	0.1	447,508
連結営業利益	23,634	23,960	325	1.4	40,078
連結経常利益	23,763	23,090	△672	△2.8	39,281
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	15,124	15,915	790	5.2	27,213
連結E B I T D A	41,355	41,734	378	0.9	76,731
連結減価償却費	17,518	17,571	53	0.3	36,248

(注) 連結E B I T D Aは、連結営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しが続くなか、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦や自然災害の影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢のもとで、当社グループは、2018年度を初年度とする「京王グループ中期3カ年経営計画」に基づき、戦略投資案件の収益化および事業の選択と集中など、“成長の実現”に向けた諸施策を推進しております。

その結果、連結営業収益は、不動産業およびレジャー・サービス業で減収となったものの、運輸業、流通業およびその他業で増収となり、2,178億3千3百万円(前年同期比0.1%増)、連結営業利益は、運輸業、流通業およびその他業で増益となったことから239億6千万円(前年同期比1.4%増)となりました。連結経常利益は230億9千万円(前年同期比2.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益の増加などにより159億1千5百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

なお、連結E B I T D Aは、417億3千4百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

また、連結減価償却費は、175億7千1百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

## ②当第2四半期連結累計期間の各セグメント別の概況

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
			%			%
運輸業	66,595	67,502	1.4	10,516	11,434	8.7
流通業	79,933	82,028	2.6	2,477	2,588	4.5
不動産業	23,378	20,840	△10.9	5,288	4,971	△6.0
レジャー・サービス業	40,118	38,823	△3.2	4,245	3,350	△21.1
その他業	23,785	25,725	8.2	1,071	1,666	55.5
計	233,812	234,919	0.5	23,600	24,012	1.7
連結修正	△16,122	△17,086	—	33	△52	—
連結	217,690	217,833	0.1	23,634	23,960	1.4

## (運輸業)

鉄道事業では、雇用情勢の改善や沿線人口の増加に加え、消費税率引上げ前の定期券等の駆け込み購入があったことなどにより、旅客運輸収入が1.9%増(うち定期2.7%増、定期外1.4%増)となったほか、「京王ライナー」の座席指定料金収入の増加などにより増収となりました。また、バス事業では、路線・高速などで増収となりました。これらの結果、営業収益は675億2百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は114億3千4百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

## (流通業)

百貨店業では、インバウンド売上が好調に推移したことに加え、消費税率引上げ前の駆け込み需要があったことなどにより増収となりました。また、ストア業では、前年度に開業した店舗が寄与したことなどにより増収となりました。これらの結果、営業収益は820億2千8百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は25億8千8百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

## (不動産業)

不動産賃貸業では、前年度に取得した物件が寄与したことなどにより増収となりました。一方、不動産販売業では、投資用マンションやリノベーション物件の売上減などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は208億4千万円(前年同期比10.9%減)、営業利益は49億7千1百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

## (レジャー・サービス業)

ホテル業では、「京王プラザホテル(新宿)」で宴会部門の受注件数の減少などがあったものの、前年度に開業した「京王プレミアホテル 京都烏丸五条」、本年5月に開業した「京王プレミアホテル 札幌」が寄与したことなどにより増収となりました。一方、旅行業では、取扱高の減少などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は388億2千3百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益はホテル業で開業に伴う費用が増加したことなどにより33億5千万円(前年同期比21.1%減)となりました。

## (その他業)

ビル総合管理業では、メンテナンス業務の受注増などにより増収となりました。また、建築・土木業では、完成工事高の増加などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は257億2千5百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は16億6千6百万円(前年同期比55.5%増)となりました。

## [鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入]

			前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比(%)
輸送人員	定期	千人	205,947	212,689	3.3
	定期外	〃	136,966	139,226	1.7
	計	〃	342,913	351,915	2.6
旅客運輸収入	定期	百万円	18,171	18,655	2.7
	定期外	〃	23,087	23,404	1.4
	計	〃	41,259	42,059	1.9

## [業種別営業収益]

(単位：百万円)

	業種別	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
運輸業	鉄道事業	43,191	44,131	2.2	86,179
	バス事業	18,582	18,829	1.3	36,542
	タクシー業	6,441	6,183	△4.0	13,022
	その他	1,298	1,278	△1.6	2,646
	消去	△2,919	△2,920	—	△6,166
	営業収益	66,595	67,502	1.4	132,224
	営業利益	10,516	11,434	8.7	14,710
流通業	百貨店業	42,077	43,924	4.4	89,535
	ストア業	25,003	25,205	0.8	50,327
	書籍販売業	3,119	2,918	△6.5	6,447
	ショッピングセンター事業	7,201	7,324	1.7	14,384
	その他	5,798	5,990	3.3	12,130
	消去	△3,267	△3,334	—	△6,402
	営業収益	79,933	82,028	2.6	166,423
営業利益	2,477	2,588	4.5	5,138	
不動産業	不動産賃貸業	17,414	18,433	5.9	35,497
	不動産販売業	9,150	7,593	△17.0	20,966
	その他	1,190	1,327	11.5	2,463
	消去	△4,376	△6,514	—	△8,922
	営業収益	23,378	20,840	△10.9	50,004
	営業利益	5,288	4,971	△6.0	9,433
レジャー・サービス業	ホテル業	26,421	27,462	3.9	54,633
	旅行業	9,944	7,803	△21.5	17,686
	広告代理業	5,331	5,631	5.6	12,556
	その他	3,515	3,444	△2.0	6,831
	消去	△5,093	△5,519	—	△11,231
	営業収益	40,118	38,823	△3.2	80,477
	営業利益	4,245	3,350	△21.1	6,983
その他業	ビル総合管理業	10,827	11,544	6.6	25,845
	車両整備業	4,065	4,041	△0.6	10,100
	建築・土木業	5,704	6,677	17.1	23,730
	その他	3,761	4,410	17.3	7,870
	消去	△572	△947	—	△2,356
	営業収益	23,785	25,725	8.2	65,191
	営業利益	1,071	1,666	55.5	5,247

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減額
総資産	889,341	882,335	△7,005
負債	521,319	501,654	△19,664
純資産	368,022	380,680	12,658
負債及び純資産	889,341	882,335	△7,005
有利子負債	338,376	333,138	△5,238

(注)有利子負債は、借入金 + 社債により算出しております。

当第2四半期連結会計期間の総資産は、減価償却の進行による有形固定資産の減少などにより70億5百万円減少し8,823億3千5百万円となりました。

負債は、工事代金の支払いなどにより196億6千4百万円減少し5,016億5千4百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより126億5千8百万円増加し3,806億8千万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間の有利子負債は3,331億3千8百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：億円)

	当連結会計年度 (予想) 【前公表値】	当連結会計年度 (予想)	対前公表値 増減率	(参考) 対前期増減率
連結営業収益	4,600	4,521	△1.7%	1.0%
連結営業利益	433	433	—	8.0
連結経常利益	419	419	—	6.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	285	285	—	4.7
連結E B I T D A	801	801	—	4.4
連結減価償却費	363	363	—	0.4

(注) 1. 前公表値は2019年4月26日公表の当期の業績予想であります。

2. 連結E B I T D Aは、連結営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	当連結会計年度 (予想)	対前公表値 増減率	(参考) 対前期増減率	当連結会計年度 (予想)	対前公表値 増減率	(参考) 対前期増減率
運輸業	1,325	—%	0.2%	151	1.3%	2.6%
流通業	1,680	△0.4%	0.9%	54	3.8%	5.1%
不動産業	518	△5.5%	3.6%	100	△1.0%	6.0%
レジャー・サービス業	792	△4.0%	△1.6%	76	△6.2%	8.8%
その他業	652	△3.8%	0.0%	59	1.7%	12.4%
計	4,969	△1.9%	0.5%	442	△0.2%	6.5%
連結修正	△448	—	—	△9	—	—
連結	4,521	△1.7%	1.0%	433	—	8.0%

最近の業績動向および当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、当連結会計年度の連結業績予想について、2019年4月26日公表の予想（前公表値）を以下に記載のとおり修正しております。

連結営業収益は4,521億円（前公表値比1.7%減）を見込んでおります。セグメント別に見ますと、運輸業は1,325億円（前公表値と同額）、流通業は百貨店業の減収などにより1,680億円（前公表値比0.4%減）、不動産業は不動産販売業の減収などにより518億円（前公表値比5.5%減）、レジャー・サービス業は旅行業およびホテル業の減収などにより792億円（前公表値比4.0%減）、その他業は建築・土木業の減収などにより652億円（前公表値比3.8%減）を見込んでおります。

連結営業利益は、不動産業およびレジャー・サービス業で減益を見込むものの、運輸業、流通業およびその他業における粗利益の増や費用の減による増益などにより、前公表値と同額を見込んでおります。連結経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益についても前公表値と同額を見込んでおります。

なお、連結E B I T D Aは801億円（前公表値と同額）を見込んでおります。

また、連結減価償却費は363億円（前公表値と同額）を見込んでおります。

(注) 連結業績予想は、公表時現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,963	35,471
受取手形及び売掛金	45,144	36,369
有価証券	19,200	23,200
商品及び製品	12,977	13,365
仕掛品	23,031	27,912
原材料及び貯蔵品	2,159	2,262
その他	6,677	6,952
貸倒引当金	△45	△49
流動資産合計	148,109	145,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	342,882	338,136
土地	228,209	226,800
建設仮勘定	28,413	32,720
その他（純額）	48,181	45,649
有形固定資産合計	647,687	643,305
無形固定資産	14,049	12,919
投資その他の資産		
投資有価証券	52,968	53,951
その他	26,664	26,814
貸倒引当金	△139	△138
投資その他の資産合計	79,494	80,626
固定資産合計	741,231	736,851
資産合計	889,341	882,335

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,058	15,859
短期借入金	70,998	72,011
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	6,625	8,203
引当金	4,646	7,462
その他	91,449	75,955
流動負債合計	212,780	199,492
固定負債		
社債	120,000	120,000
長期借入金	127,377	121,127
退職給付に係る負債	21,266	21,411
その他	39,894	39,622
固定負債合計	308,538	302,161
負債合計	521,319	501,654
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,011	42,011
利益剰余金	274,501	287,364
自己株式	△19,542	△19,547
株主資本合計	355,994	368,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,527	10,636
為替換算調整勘定	8	3
退職給付に係る調整累計額	1,186	898
その他の包括利益累計額合計	11,723	11,538
非支配株主持分	304	289
純資産合計	368,022	380,680
負債純資産合計	889,341	882,335

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業収益	217,690	217,833
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	169,897	169,039
販売費及び一般管理費	24,158	24,833
営業費合計	194,055	193,873
営業利益	23,634	23,960
営業外収益		
受取利息	146	11
受取配当金	660	659
雑収入	1,169	370
営業外収益合計	1,976	1,041
営業外費用		
支払利息	1,768	1,585
持分法による投資損失	6	42
雑支出	72	283
営業外費用合計	1,847	1,911
経常利益	23,763	23,090
特別利益		
固定資産売却益	38	1,710
工事負担金等受入額	52	32
その他	19	4
特別利益合計	110	1,747
特別損失		
固定資産除却損	330	470
固定資産圧縮損	33	28
その他	807	373
特別損失合計	1,171	872
税金等調整前四半期純利益	22,702	23,965
法人税等	7,576	8,059
四半期純利益	15,126	15,905
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,124	15,915

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	15,126	15,905
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,971	108
退職給付に係る調整額	△437	△288
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△5
その他の包括利益合計	1,537	△184
四半期包括利益	16,664	15,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,662	15,731
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△9

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 1. 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益	66,595	79,933	23,378	40,118	23,785	233,812	△16,122	217,690
セグメント利益	10,516	2,477	5,288	4,245	1,071	23,600	33	23,634

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益	67,502	82,028	20,840	38,823	25,725	234,919	△17,086	217,833
セグメント利益	11,434	2,588	4,971	3,350	1,666	24,012	△52	23,960

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。